

こんにちは婦人会「さくら」です

立春もすぎて春一番が吹きましたが、三寒四温でこの先も気温の差がありそうです。この頃は、インフルエンザが猛威を振るっているようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。先日、知人より戴いたクリスマスローズが綺麗に咲いています。隣には黄水仙も咲いて。。。小さな春を感じています。



～婦人会・暮らしのエッセンス～

今月は、主を追って空を行く飛梅伝説！！をご紹介します。

平安時代の貴族菅原道真は、梅の花を好み、邸内にたくさんの梅の花を植えていたので「紅梅殿」と呼ばれていました。道真は平安京朝廷内の藤原時平との政争に敗れ、遠く九州筑前国の大宰府に左遷されることになりました。都落ちの時を控えて道真は、邸内の梅の木に別れを惜しんで「東風吹かばにほひをこせよ 梅の花 主なしとて 春なわすれそ」と詠みました。主を失った梅の木は、一夜にして京都から大宰府まで飛来し根付いたそうです。太宰府天満宮に今も現存するご神木（飛梅）は樹齢1000年を優に超えた老木ですが、境内にあるどの木にも先じて最も早くほころぶそうです。大宰府には約200種、約6000本の梅の木があり日本有数の梅の名所となっています。 (インターネット引用)

厳しい寒さはまだ続きます。ご自愛ください。



婦人会「さくら」
平成28年2月22日
第169号